

地域開発みちの会 学習会 公開事業

減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表

浅野幸子さんと考える

避難生活で 命と健康を 本当に 守れますか？



女性・子ども・高齢者・障がい者などの視点から

令和
4年

11月22日 火

開場 13:30

開演 14:00

東海市立 市民活動センター 大会議室
東海市大田町後田 20番地の1 ソラト太田川 3階

入場無料 事前申し込み制〔定員70名 先着順〕



名鉄太田川駅 東へ徒歩1分
公共駐車場 2時間まで無料

申し込み
問合せ 地域開発みちの会
<http://www.aichi-michinokai.com/>



避難生活で命と健康を 本当に守れますか？

～女性・子ども・高齢者・障がい者
などの視点から～

講師プロフィール

浅野 幸子（あさの さちこ）

浅草育ち。阪神・淡路大震災に際して学生ボランティアから国際協力NGOの現地事務所スタッフとなり、在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興まちづくり協議会の支援などに4年間従事。帰京後も市民団体で働きながら、法政大学院修士課程修了（政策科学修士）。2011年6月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークの活動に参加。

2014年4月より、後継団体である、減災と男女共同参画研修推進センター共同代表。主な専門分野は地域防災、災害とジェンダー。各地で、防災講演・講座・研修を行っている。内閣府の「男女共同参画の視点からの防災・復興取組指針」（2013年）、「避難所運営ガイドライン」（2016年）、「地域防災力の向上を目指すアドバイザーレポート」（現在）など、国・自治体の政策にもかかわる。

参加受付

参加費 無料
定員 70名（先着順）
受付期間 10月3日～11月21日

みちの会ホームページ「お問い合わせ」より、件名「学習会参加希望」、氏名・電話番号・メールアドレスを記載の上、お申し込みください。

地域開発みちの会



14時～15時30分

浅野幸子さん講演

災害時に必要とされる支援は、年齢や性別、障がい・疾病の有無で異なります。男女共同参画・多様性配慮の視点から数々の政策に携わってきた浅野さんに、『避難生活で命と健康を本当に守れますか？』の表題でお話を伺います。令和時代の災害対策を、いま、改めて考えてみませんか。

講演の後は質疑応答の時間も設けます。

15時40分～16時30分

懇話会（自由参加）

浅野幸子さんを交えて懇話会を開催します。講演を受けて考えたことや、それぞれの地域が抱えている防災・減災に関する課題、災害に強いまちづくりについてなど、ぜひ率直に語り合いましょう。

主催

地域開発みちの会

1987年、愛知県主催の地域婦人問題開発研究会を修了した名古屋市・知多5市5町の女性によって自主的に結成されました。

女性の資質と地位の向上により社会に参画し、地域の発展に寄与することを目的として学習と実践活動を重ねています。

2022年度のテーマ

は「性差別をなくすために私たちは行動する」。

活動の様子はホームページ、Facebookページでも発信しています。

随時、入会を受付中です。詳細、お問い合わせは、ホームページ (<http://www.aichi-michinokai.com/>) をご覧ください。

